

大学等入学時奨学金 様式集

(印刷用 ※片面の様式用に空白ページを挟んでいます。)

【申請者用】

- 1 別紙様式1 大学等入学時奨学金貸与申請書 (両面)
(注) 別紙様式1を印刷する前に、学校コードを記入してください。
- 2 別紙様式1 大学等入学時奨学金貸与申請書 (記入例) (両面)
- 3 令和7年度大学等入学時奨学金に係る申立書 (片面)
- 4 令和7年度大学等入学時奨学金に係る申立書 (記入例) (片面)
- 5 令和7年度大学等入学時奨学金申請チェックシート (両面)
※ 申請・学校用

【学校用】

- 1 **【参考様式】** 調査書
- 2 令和7年度大学等入学時奨学金申請チェックシート (片面)
※ 奨学金担当者用

大学等入学時奨学金貸与申請書

奨学金申込種別 1～3のいずれか 1つに○をする。	専願	1 地方創生枠 のみ
	併願	2 一般枠 のみ
		3 地方創生枠 ・ 一般枠 の2つの枠に併願
進学希望校種 1・2のいずれか に○をする。	1 大学・短大 2 専修学校（専門課程） (注1) 「1 大学・短大」に○をする場合、下の「進学希望校」の第一希望・第二希望の欄には、専修学校（専門課程）は記入できません。 (注2) 「2 専修学校（専門課程）」に○をする場合、下の「進学希望校」の第一希望・第二希望の欄には、大学・短大は記入できません。 (注3) 採用候補となった奨学金の対象校種以外に入学した場合は、採用候補が取消となります。 (例：「大学・短大」の地方創生枠又は一般枠の採用候補者となった者が、「専修学校（専門課程）」へ入学した場合等) (注4) 採用候補となった後、国の「高等教育の修学支援新制度」の対象となる大学等（通信教育学部除く）以外の大学等に進学した場合は、採用候補が取消となります。	
返還支援候補者募集への応募の有無について、該当する方に○をする。	* 別に募集する「大学等奨学金返還支援（人材育成枠）候補者」への応募 （ 有 ・ 無 ） [注] 地方創生枠の応募者が、「大学等奨学金返還支援候補者」に認定された場合、地方創生枠では採用されません。（重複採用不可）	
学校名	※ 全・定・通	学 校 コ ー ド
卒業年月	令和 年 月 ※（卒業・卒業見込）	本人携帯電話
氏 名	フリガナ	元号
		平成
保 護 者	〒	(フリガナ)
	住 所 コ ー ド	都 道 市 町 村 府 県
住 所	ア(マンション) 部 屋 番 号	携帯電話
		固定電話
進 学 希 望 校	第 一 希 望	
	※ 国公立・私立	
	※ 国公立・私立	
	学 部 (群)	科 (類)
	※ 昼 ・ 夜	※ 昼 ・ 夜
大学等入学から卒業までの正規の修学期間	令和 7年 4月から令和 年 3月まで(年間)	

注① ※印の箇所は、該当するものを○で囲むこと。

注② 「住所コード」欄は、別添「住所コード一覧」を参照し記入すること。

注③ 「学校名」欄は、「□□高等学校、△△専修学校（専門課程）」など正確に記入すること。

(裏面に続く)

同一生計の家族状況

別居者は番号 を○で囲む。	本人との続柄	氏 名	備 考
1	父		
2	母		
3	本 人		
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

家族の生活状況及び奨学金を必要とする理由

※ 該当する場合はいずれかを○で囲む。

市町村民税課税状況	非課税 ・ 減 免
児童養護施設	施設退所 ・ 施設通学

貴財団の奨学生として採用の上、奨学金を貸与して下さるよう申請します。

令和 年 月 日

本 人 氏 名 (本人自署) ㊟

保 護 者 住 所 (保護者自署)

氏 名 ㊟

公益財団法人鹿児島県育英財団理事長 殿

大学等入学時奨学金貸与申請書

【記入例】

奨学金申込種別 1～3のいずれか 1つに○をする。	専願	1 地方創生枠 のみ	希望する奨学金種別の番号を○で囲む			
		2 一般枠 のみ				
	併願	3 地方創生枠 ・ 一般枠 の2つの枠に併願				
進学希望校種 1・2のいずれか に○をする。	1 大学・短大	進学を希望する校種の番号を○で囲む				
	2 専修学校（専門課程）					
<p>(注1) 「1 大学・短大」に○をする場合、下の「進学希望校」の第一希望・第二希望の欄には、専修学校（専門課程）は記入できません。</p> <p>(注2) 「2 専修学校（専門課程）」に○をする場合、下の「進学希望校」の第一希望・第二希望の欄には、大学・短大は記入できません。</p> <p>(注3) 採用候補となった奨学金の対象校種以外に入学した場合は、採用候補が取消となります。 (例: 「大学・短大」の地方創生枠又は一般枠の採用候補者となった者が、「専修学校（専門課程）」へ入学した場合等)</p> <p>(注4) 採用候補となった後、国の「高等教育の修学支援新制度」の対象となる大学等（通信教育学部除く）以外の大学等に進学した場合は、採用候補が取消となります。</p>						
返還支援候補者募集への応募の有無について、該当する方に○をする。	<p>* 別に募集する「大学等奨学金返還支援（人材育成枠）候補者」への応募</p> <p>(有 ・ 無)</p> <p>大学等奨学金返還支援に応募している場合は、有を○で囲む</p> <p>(注) 地方創生枠の応募者が、「大学等奨学金返還支援候補者」に認定された場合、地方創生枠では採用されません。(重複採用不可)</p>					
学校名	※(全)・定・通 鹿児島県立□□高等学校		学校コード	× × × × × ×	学科名	普通科
卒業年月	令和 6 年 3 月 ※ (卒業・卒業見込)	本人携帯電話	090-◇◇◇◇-××××			
氏名	フリガナ	イクエイ シュンタ		生年月日	元号	年 月 日
		育英 春太			平成	1 9 0 2 0 2
保護者	〒	8 9 0 - × × × ×	(フリガナ) カコシマケン カコシマシ ○○チョウ			
	住所コード	4 6 0 0 0	鹿児島 都道府県 鹿児島 (市) 町村 ○○町 ◇-△			
住所	アパート名(マンション)	住所コード一覧から転記		携帯電話	090 - □□□□ - △△△△	
	部屋番号	コーポ育英301室		固定電話	099 - ◇◇◇ - ○○○○	
進学希望校	第一希望			第二希望		
	◇◇大学	※(国公立) 私立	○○大学	※ 国公立 (私立)		
	法 学部(群) 法政策学 科(類) ※(昼)・夜			法文 学部(群) 法学 科(類) ※(昼)・夜		
大学等入学から卒業までの正規の修学期間		令和 7 年 4 月から令和 11 年 3 月まで (4 年間)				

注① ※印の箇所は、該当するものを○で囲むこと。
 注② 「住所コード」欄は、別添「住所コード一覧」を参照し記入すること。
 注③ 「学校名」欄は、「□□高等学校、△△専修学校（専門課程）」など正確に記入すること。(裏面に続く)

同一生計の家族状況 ←

兄弟等で、同居をしているが生計を別にしてている者は、記入不要

別居者は番号を○で囲む。	本人との続柄	氏名	備考
1	父	育英 秋男	
2	母	育英 春子	
3	本人	育英 春太	
④	姉	育英 夏子	
5	弟	育英 春彦	
6	祖母	育英 フユ	
7			
8			
9			
10			

家族の生活状況及び奨学金を必要とする理由

申請者が奨学金を必要とする理由を具体的に詳しく記入すること。

※ 該当する場合はいずれかを○で囲む。

市町村民税課税状況	非課税 ・ <input checked="" type="radio"/> 減免
児童養護施設	施設退所 ・ 施設通学

貴財団の奨学生として採用の上、奨学金を貸与して下さるよう申請します。

令和 **6** 年 **7** 月 ○ 日

記入した日
を書く

本人
(本人自署)

氏名 育英 春太

※各自で必ず記入すること

育英

本人の署名・押印

保護者
(保護者自署)

住所 鹿児島市○○町◇-△ 育英コーポ301号室

育英

保護者の署名・押印

氏名 育英 秋男

公益財団法人鹿児島県育英財団理事長 殿

各自自署のうえ、本人印と保護者印は、異なる印を押印のこと
また、印鑑はシャチハタ等(金融機関等で取扱いできない印)は不可

令和7年度大学等入学時奨学金に係る申立書

令和 年 月 日

高等学校等名	高校
申請者(生徒)氏名	
申立対象者(生計維持者)	

令和6年度(令和5年分)市町村民税所得額課税額証明書等の内容について、発行元の市町村役場に以下のとおり確認したことを申し立てます。

なお、虚偽の申告をしたことが判明した場合、採用等を取り消されても異議はありません。

ふるさと納税及び住宅借入金等特別控除の有無 (いずれかに○をする。)	有 ・ 無
---------------------------------------	-------

有の場合 ↓

ふるさと納税及び住宅借入金等特別控除前の市町村民税の所得割の金額	円
----------------------------------	---

申立者(生計維持者)氏名

印

※ 自署

※ 認め印で可

※ 生計維持者が2人の場合は、それぞれ提出が必要

【 記入例 】

令和7年度大学等入学時奨学金に係る申立書

令和6年7月○日

高等学校等名	□□高校
申請者(生徒)氏名	育英 春太
申立対象者(生計維持者)	育英 秋男

令和6年度(令和5年分)市町村民税所得額課税額証明書等の内容について、発行元の市町村役場に以下のとおり確認したことを申し立てます。

なお、虚偽の申告をしたことが判明した場合、採用等を取り消されても異議はありません。

ふるさと納税及び住宅借入金等特別控除の有無 (いずれかに○をする。)	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
---------------------------------------	--

有の場合

市町村役場に確認の上、
記入

ふるさと納税及び住宅借入金等特別控除前の市町村民税の所得割の金額	58,100円
----------------------------------	---------

申立者(生計維持者)氏名

育英 秋男



※ 自署

※ 認め印で可

申立者の署名・押印

学校名		申請者氏名	
-----	--	-------	--



令和7年度大学等入学時奨学金申請チェックシート（1/2）

チェック欄に○印又はレ点を，該当しない項目には斜線を記入し，学校へ提出してください。

	チエック項目	申請者 チェック	学校 チェック	
確認事項	奨学金の貸与後は、 奨学生本人及び連帯保証人に返還の義務 があります。 返還開始後は、どのように奨学金を返還していくのか、家族等の関係者間で話し合いましたか。		/	
	過去に、大学等入学時奨学金奨学生として採用されていませんか。 (採用されたことがある者は、申請できません。ただし、採用候補者となった後、辞退した者は、申請可能。)			
	【地方創生枠】 鹿児島県等が実施する、返還免除の制度が設けられている修学資金等を受けていませんか。(当該修学資金等との重複貸与はできません。)			
	記入にあたって、黒か紺のボールペンで書いていますか。 ※ 鉛筆や消せるボールペン（フリクション等）は使用不可です。			
大学等入学時奨学金貸与申請書	「奨学金申込種別」欄は、希望する種別の番号を○で囲んでいますか。			
	「進学希望校種」欄は、希望する校種の番号を○で囲んでいますか。			
	別に募集する「大学等奨学金返還支援候補者」への応募の有無について、該当する方を○で囲んでいますか。			
	「卒業年月」欄の（卒業・卒業見込）について、該当する方を○で囲んでいますか。			
	「進学希望校」欄は、正しく記入してありますか。 ※ 国公立・私立の別，昼・夜の別については，該当する方を○で囲んでいますか。			
	「大学等入学から卒業までの正規の修学期間」欄は正しく記入してありますか。			
	「家族同一生計」欄	同一生計の家族を記入してありますか。 ※ 同一生計の家族とは、 同居・別居を問わず本人と生計を一にする家族 です。		
		別居者は、番号を○で囲んでいますか。 ※ 別居者とは、単身赴任、兄弟姉妹が自宅外通学をしている場合などです。		
		「家族の生活状況及び奨学金を必要とする理由」欄は記入してありますか。		
		署名欄の日付は記入してありますか。		
	本人と保護者の署名は、それぞれ各自で記入してありますか。 ※ 筆跡が同じと判断した場合は、申請は認められません。			
	本人と保護者の印は、それぞれ 各自で別の印を押印 していますか。 ※ 同一の印鑑やシャチハタ印等(金融機関等で取り扱いできない印)での申請は認められません。			
	本人又は保護者の記載内容に誤りがあった場合は、誤った部分を二本線で消して、本人又は保護者各自の印（申請書に使用した印）を押し、余白に正しい事項を記入してありますか。 ※ <u>修正液等は使用しないでください。</u>			

⇒裏面に続く。



令和7年度大学等入学時奨学金申請チェックシート（2/2）

	チ ェ ッ ク 項 目	申請者 チェック	学校 チェック
所得額課税額証明書	本人及び父母等の令和6年度所得額課税額証明書（原本）【市町村役場発行】がありますか。 ※ 令和6年度（令和5年分のもの）で、所得額と、市町村民税・県民税の額がわかる証明書の提出が必要です。		
	所得額課税額証明書（原本）は、本人及び父母等各自で個別の証明書を取得していますか。 ※ 連名の証明書1通での提出は不可です。 ※ 所得が0円でも、必ず本人及び父母等各1通ずつの提出が必要です。		
申立書	父母等の令和7年度大学等入学時奨学金に係る申立書がありますか。 ※ 所得が0円でも、必ず父母等それぞれの提出が必要です。		
	父母等の令和7年度大学等入学時奨学金に係る申立書は、ふるさと納税及び住宅借入金等（住宅ローン）特別控除の有無について市町村役場に確認した上で、自署・押印していますか。		
調査書	別に募集する「大学等奨学金返還支援候補者」にも応募する場合、それぞれに原本を添付してありますか。	/	
	日付等の記入漏れはありませんか。		
	学校長の証明印が押印してありますか。		

※注意※

申請書類に不備がある場合は、受け付けできませんので、提出する前に必ず確認してください。

【 参考様式 】

調 査 書

申請者	フリガナ						生年月日	平成 年 月 日生				
	氏名											
現住所												
略歴	平成・令和 年 月 日 立						高等学校入学					
	令和 年 月 日 立						高等学校 卒業見込・卒業					
各教科・科目等の学習の記録												
教科・科目		評定				教科・科目		評定				
		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年			第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	
教科	科目					教科	科目					
各教科の学習成績の状況	教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	保健体育	芸術	外国語	家庭	情報	全体の学習成績の状況
	学習成績の状況											
	教科											
	学習成績の状況											
この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する。												
令和 年 月 日												
学校名												
所在地												
校長名												
<div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">印</div>												
記載責任者職氏名												

- ※ 全体の学習成績の状況は、全履修教科・科目5段階評定の平均値を記入してください。
- ※ 記入していただいた情報は、奨学金以外の目的には利用されません。
- ※ 各項目を満たしていれば学校任意の様式でも構いません。

【奨学金担当者用】

学校名		担当者氏名	
-----	--	-------	--



令和7年度大学等入学時奨学金申請チェックシート（1/1）

申請者全員分の申請書類（添付書類を含む）、調査書の内容を確認し、申請データを作成の上、下記の項目について確認してください。

該当項目に○印又はレ点を、該当しない項目には斜線を記入し、申請書類と一緒に育英財団へ提出してください。

	チ ェ ッ ク 項 目	担当者 チェック
申請書類	申請者からの書類は、全て不備なく揃っていますか。	
システム申請	令和7年度大学等入学時奨学金申請システムで申請データを作成し、育英財団宛てにエクセルデータをメールで送信していますか。	
貸与推薦者 総括票	大学等入学時奨学金申請システムから出力していますか。	
	学校長の証明印は押印してありますか。	
貸与推薦者 一覧	大学等入学時奨学金申請システムから出力していますか。	
	一覧の内容が、申請内容と一致していますか。 (申請している枠、評定の学年順位が一致しているか等) ※ 評定の学年順位は、直近の評価時点における評定の学年順位	
	日付や電話番号等の記入漏れはありませんか。	
	一覧は枠ごとに出力されますが、それぞれ学校長の証明印が押印されていますか。 ※ 地方創生枠・一般枠の2つの枠に申請がある場合、1枚目にしか「印」は印字されませんが、必ず2枚目も押印してください。	

※注意※

申請書類に不備がある場合は受け付けできませんので、提出する前に必ず確認してください。

